

作用機序に関する説明資料

1. 製品概要

商品名	ディーエイチシー D H C 飲む野菜1日350
機能性関与成分名	難消化性デキストリン（食物繊維）
表示しようとする機能性	本品には難消化性デキストリン（食物繊維）が含まれます。難消化性デキストリン（食物繊維）には、おなかの調子を整え、便通・お通じを改善する機能があることが報告されています。

2. 作用機序

難消化性デキストリン（食物繊維）はヒトの消化酵素で消化されない構造を有するため、上部消化管において消化吸収されず大腸に到達する¹⁾。そのうちの一部は腸内細菌によって資化され短鎖脂肪酸が生成される²⁾。短鎖脂肪酸は大腸の蠕動運動を刺激するため、難消化性デキストリン（食物繊維）の摂取により排便が促進される。また、腸内細菌による資化を逃れた部分は、そのまま便として排泄されるため、便のかさを増やす効果があり便量の増加に寄与する^{1、3)}。このような大腸の蠕動運動の刺激および便量の増加により、難消化性デキストリン（食物繊維）は排便回数および排便量を増加させると考えられている⁴⁾。

1) 澱粉化学 Vol.37, No.2, 107-114 (1990)

2) 日本栄養・食糧学会誌 Vol.44, No.6, 471-478 (1991)

3) 食品衛生学雑誌 Vol.33, No.6, 557-562 (1992)

4) 栄養学雑誌 Vol.51, No.1, 31-37 (1993)